

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE



In re application of :
Yuko TSUSAKA et al. :
Serial No. NEW : **Attn: APPLICATION BRANCH**
Filed January 18, 2002 : Attorney Docket No. 2002_0045A

SYSTEM AND METHOD OF CONTENTS
DISTRIBUTION, AND CONTENTS
DISTRIBUTION APPARATUS

CLAIM OF PRIORITY UNDER 35 USC 119

Assistant Commissioner for Patents,
Washington, DC 20231

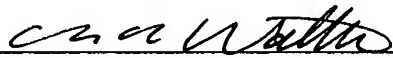
Sir:

Applicants in the above-entitled application hereby claim the date of priority under the International Convention of Japanese Patent Application No. 2001-013177, filed January 22, 2001, as acknowledged in the Declaration of this application.

A certified copy of said Japanese Patent Application is submitted herewith.

Respectfully submitted,

Yuko TSUSAKA et al.

By 
Charles R. Watts
Registration No. 33,142
Attorney for Applicants

CRW/asd
Washington, D.C. 20006-1021
Telephone (202) 721-8200
Facsimile (202) 721-8250
January 18, 2002

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

J1000 U.S. PTO
10/050098
01/13/02

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 1月22日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-013177

出 願 人

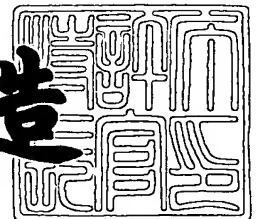
Applicant(s):

松下電器産業株式会社

2001年11月26日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3102961

【書類名】 特許願

【整理番号】 2022520413

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G11B 20/10
H04L 12/14

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式
会社内

【氏名】 津坂 優子

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式
会社内

【氏名】 梶本 一夫

【特許出願人】

【識別番号】 000005821

【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100098291

【弁理士】

【氏名又は名称】 小笠原 史朗

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 035367

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9405386

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 コンテンツ配信システム及び方法並びにコンテンツ配信装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ネットワークを介して、コンテンツ配信装置から端末装置へ映像／音楽データ等のコンテンツを配信するコンテンツ配信システムであって、前記コンテンツ配信装置は、

コンテンツと、当該コンテンツに付加される予め定めた特殊効果に関する特殊効果データとを一对として、それぞれ記憶するコンテンツ記憶部と、

再生時に前記特殊効果データをコンテンツに付加させるか否かを示すフラグ、及び付加させないで利用するために必要な利用条件を、少なくとも含む管理データを設定するコンテンツ管理データ設定部と、

コンテンツ、前記特殊効果データ及び前記管理データを、前記端末装置へ送信する送信部とを備え、

前記端末装置は、

コンテンツ、前記特殊効果データ及び前記管理データを、前記送信部から受信する受信部と、

前記管理データの前記フラグの有無に基づいて、前記特殊効果データを付加した又は付加しないコンテンツを再生し、前記管理データの前記利用条件が満足された場合には、前記フラグを解除する再生制御部とを備える、コンテンツ配信システム。

【請求項 2】 前記コンテンツ配信装置は、前記管理データを記憶するデータ記憶部をさらに備える、請求項 1 に記載のコンテンツ配信システム。

【請求項 3】 前記コンテンツ配信装置は、前記コンテンツ管理データ設定部で設定された前記管理データの前記フラグに従って、前記特殊効果データを付加した又は付加しないコンテンツを再生して確認する配信コンテンツ再生確認部をさらに備える、請求項 1 又は 2 に記載のコンテンツ配信システム。

【請求項 4】 ネットワークを介して、コンテンツ配信装置から端末装置へ映像／音楽データ等のコンテンツを配信するコンテンツ配信方法であって、前記コンテンツ配信装置が、

コンテンツと、当該コンテンツに付加される予め定めた特殊効果に関する特殊効果データとを一对として、それぞれ記憶するステップと、

再生時に前記特殊効果データをコンテンツに付加させるか否かを示すフラグ、及び付加させないで利用するために必要な利用条件を、少なくとも含む管理データを設定するステップと、

コンテンツ、前記特殊効果データ及び前記管理データを、前記端末装置へ送信するステップとを備え、

前記端末装置が、

コンテンツ、前記特殊効果データ及び前記管理データを、前記コンテンツ配信装置から受信するステップと、

前記管理データ内の前記フラグの有無に基づいて、前記特殊効果データを付加した又は付加しないコンテンツを再生し、前記管理データの前記利用条件が満足された場合には、前記フラグを解除するステップとを備える、コンテンツ配信方法。

【請求項 5】 前記コンテンツ配信装置が、前記管理データを記憶するステップをさらに備える、請求項 4 に記載のコンテンツ配信方法。

【請求項 6】 前記コンテンツ配信装置が、前記設定するステップで設定された前記管理データの前記フラグに従って、前記特殊効果データを付加した又は付加しないコンテンツを再生して確認するステップをさらに備える、請求項 4 又は 5 に記載のコンテンツ配信方法。

【請求項 7】 ネットワークを介して、端末装置へ映像／音楽データ等のコンテンツを配信するコンテンツ配信装置であって、

コンテンツと、当該コンテンツに付加される予め定めた特殊効果に関する特殊効果データとを一对として、それぞれ記憶するコンテンツ記憶部と、

再生時に前記特殊効果データをコンテンツに付加させるか否かを示すフラグ、及び付加させないで利用するために必要な利用条件を、少なくとも含む管理データを設定するコンテンツ管理データ設定部と、

コンテンツ、前記特殊効果データ及び前記管理データを、前記端末装置へ送信する送信部とを備える、コンテンツ配信装置。

【請求項 8】 前記管理データを記憶するデータ記憶部をさらに備える、請求項 7 に記載のコンテンツ配信装置。

【請求項 9】 前記コンテンツ管理データ設定部で設定された前記管理データの前記フラグに従って、前記特殊効果データを付加した又は付加しないコンテンツを再生して確認する配信コンテンツ再生確認部をさらに備える、請求項 7 又は 8 に記載のコンテンツ配信装置。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、コンテンツ配信システム及び方法並びにコンテンツ配信装置に関し、より特定的には、映像データや音楽データ等のコンテンツに利用条件を付加して配信するシステム及び方法、当該システムで用いられるコンテンツを配信する装置に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

近年、映像データや音楽データ等のコンテンツをパソコンや携帯電話等の端末装置へ配信するサービスが始まりつつある。一般に、このようなサービスには、コンテンツの配信が、無償（又は無限）で行われる方式と有償（又は有限）で行われる方式とが存在する。

通常、有償方式の場合、コンテンツの内容を利用者がある程度確認できるように、オリジナルのコンテンツに特定の映像効果や音響効果（以下、特殊効果という）が付加されたコンテンツ（以下、内容制限コンテンツという）が制作される。そして、有償方式の場合には、内容制限コンテンツがオリジナルコンテンツの利用条件（例えば、購入に関する課金条件）と共に、利用者へ提供されることが行われる。

【 0 0 0 3 】

図 5 は、有償方式による従来のコンテンツ配信システムの構成及びコンテンツ配信の流れを示す図である。

図 5 において、利用者（端末装置）は、料金の支払いを行う前にコンテンツの

内容を確認したい場合、ネットワークを介して、サービス提供者（コンテンツ配信装置）から内容制限コンテンツをまず取得する。そして、利用者は、内容制限コンテンツ及びそれに付随する利用条件（課金条件）を確認して、このコンテンツを購入したい場合には、その条件を満足させた上でサービス提供者からオリジナルコンテンツを新たに取得する。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記従来のコンテンツ配信システムでは、サービス提供者であるコンテンツ配信装置に、1つのコンテンツに対してオリジナルコンテンツと内容制限コンテンツとの2つのデータを持たせる必要がある。このため、実質的に同一コンテンツが重複して保持されていることとなり、コンテンツ配信装置の記憶資源が無駄に消費されるという問題があった。

また、利用者である端末装置では、事前にその内容を確認した後にコンテンツを購入する場合に、内容制限コンテンツを取得した後にオリジナルコンテンツを取得する必要がある。このため、実質的に同一コンテンツを重複して取得することとなり、取得のために無駄な通信時間及び費用がかかるという問題がある。

【0005】

これらの問題は、コンテンツとは別に特殊効果を付加させるためのデータを有していないことが原因であり、コンテンツに対して自由に特殊効果を付加させたり除去させたりすることが可能な配信コンテンツを作成することができなかったために生じるものがある。

【0006】

それ故、本発明の目的は、オリジナルコンテンツに特殊効果のみに関するデータを付加すると共に、この特殊効果の制御が可能な特定の情報を付加して配信を行うことにより、コンテンツ配信装置における記憶資源及び端末装置における通信資源の有効活用を図ったコンテンツ配信システム及び方法、並びに利用条件に応じてコンテンツへの特殊効果の付与を設定できるコンテンツ配信装置を提供することである。

【0007】

【課題を解決するための手段および発明の効果】

第 1 の発明は、ネットワークを介して、コンテンツ配信装置から端末装置へ映像／音楽データ等のコンテンツを配信するコンテンツ配信システムであって、

コンテンツ配信装置は、

コンテンツと、当該コンテンツに付加される予め定めた特殊効果に関する特殊効果データとを一对として、それぞれ記憶するコンテンツ記憶部と、

再生時に特殊効果データをコンテンツに付加させるか否かを示すフラグ、及び付加させないで利用するために必要な利用条件を、少なくとも含む管理データを設定するコンテンツ管理データ設定部と、

コンテンツ、特殊効果データ及び管理データを、端末装置へ送信する送信部とを備え、

端末装置は、

コンテンツ、特殊効果データ及び管理データを、送信部から受信する受信部と、

管理データのフラグの有無に基づいて、特殊効果データを付加した又は付加しないコンテンツを再生し、管理データの利用条件が満足された場合には、フラグを解除する再生制御部とを備える。

【 0 0 0 8 】

上記のように、第 1 の発明によれば、オリジナルのコンテンツと、そのコンテンツに関する特殊効果データとを個別に持たせておき、管理データにコンテンツ再生時に特殊効果を付加させるか否かのフラグを与えて端末装置へ配信させる。これにより、コンテンツ配信装置では、記憶資源の有効活用が図れる。また、端末装置では、1 回のコンテンツ受信だけで、特殊効果が有るコンテンツ又は特殊効果が無いコンテンツのいずれをも再生可能となるので、通信資源を有効活用できる。

【 0 0 0 9 】

第 2 の発明は、第 1 の発明に従属する発明であって、

コンテンツ配信装置は、管理データを記憶するデータ記憶部をさらに備える。

上記のように、第 2 の発明によれば、コンテンツ管理データ設定部で設定され

た管理データを記憶しておくことで、当該管理データを他のコンテンツにも簡単に再利用させることができる。

【 0 0 1 0 】

第 3 の発明は、第 1 及び第 2 の発明に従属する発明であって、

コンテンツ配信装置は、コンテンツ管理データ設定部で設定された管理データのフラグに従って、特殊効果データを付加した又は付加しないコンテンツを再生して確認する配信コンテンツ再生確認部をさらに備える。

上記のように、第 3 の発明によれば、コンテンツ配信装置に、コンテンツ管理データ設定部で設定された管理データに応じたコンテンツ再生状態を確認することが可能となる。

【 0 0 1 1 】

第 4 の発明は、ネットワークを介して、コンテンツ配信装置から端末装置へ映像／音楽データ等のコンテンツを配信するコンテンツ配信方法であって、

コンテンツ配信装置が、

コンテンツと、当該コンテンツに付加される予め定めた特殊効果に関する特殊効果データとを一对として、それぞれ記憶するステップと、

再生時に特殊効果データをコンテンツに付加させるか否かを示すフラグ、及び付加させないで利用するために必要な利用条件を、少なくとも含む管理データを設定するステップと、

コンテンツ、特殊効果データ及び管理データを、端末装置へ送信するステップとを備え、

端末装置が、

コンテンツ、特殊効果データ及び管理データを、コンテンツ配信装置から受信するステップと、

管理データ内のフラグの有無に基づいて、特殊効果データを付加した又は付加しないコンテンツを再生し、管理データの利用条件が満足された場合には、フラグを解除するステップとを備える。

【 0 0 1 2 】

上記のように、第 4 の発明によれば、オリジナルのコンテンツと、そのコンテ

ンツに関する特殊効果データとを個別に持たせておき、管理データにコンテンツ再生時に特殊効果を付加させるか否かのフラグを与えて端末装置へ配信させる。これにより、コンテンツ配信装置で記憶資源の有効活用を図ることができる。また、1回のコンテンツ受信だけで、特殊効果が有るコンテンツ又は特殊効果が無いコンテンツのいずれをも再生可能となるので、端末装置での通信資源を有効活用させることができる。

【 0 0 1 3 】

第5の発明は、第4の発明に従属する発明であって、

コンテンツ配信装置が、管理データを記憶するステップをさらに備える。

上記のように、第5の発明によれば、設定された管理データを記憶しておくことで、当該管理データを他のコンテンツにも簡単に再利用させることができる。

【 0 0 1 4 】

第6の発明は、第4及び第5の発明に従属する発明であって、

コンテンツ配信装置が、設定するステップで設定された管理データのフラグに従って、特殊効果データを付加した又は付加しないコンテンツを再生して確認するステップをさらに備える。

上記のように、第6の発明によれば、コンテンツ配信装置で設定された管理データに応じたコンテンツ再生状態を確認することが可能となる。

【 0 0 1 5 】

第7の発明は、ネットワークを介して、端末装置へ映像データや音楽データ等のコンテンツを配信するコンテンツ配信装置であって、

コンテンツと、当該コンテンツに付加される予め定めた特殊効果に関する特殊効果データとを一对として、それぞれ記憶するコンテンツ記憶部と、

再生時に特殊効果データをコンテンツに付加させるか否かを示すフラグ、及び付加させないで利用するために必要な利用条件を、少なくとも含む管理データを設定するコンテンツ管理データ設定部と、

コンテンツ、特殊効果データ及び管理データを、端末装置へ送信する送信部とを備える。

【 0 0 1 6 】

上記のように、第 7 の発明によれば、オリジナルのコンテンツと、そのコンテンツに関する特殊効果データとを個別に持たせておき、管理データにコンテンツ再生時に特殊効果を付加させるか否かのフラグを与えて端末装置へ配信させる。これにより、記憶資源の有効活用が図れる。

【 0 0 1 7 】

第 8 の発明は、第 7 の発明に従属する発明であって、
管理データを記憶するデータ記憶部をさらに備える。

上記のように、第 8 の発明によれば、コンテンツ管理データ設定部で設定された管理データを記憶しておくことで、当該管理データを他のコンテンツにも簡単に再利用させることができる。

【 0 0 1 8 】

第 9 の発明は、第 7 及び第 8 の発明に従属する発明であって、
コンテンツ管理データ設定部で設定された管理データのフラグに従って、特殊効果データを付加した又は付加しないコンテンツを再生して確認する配信コンテンツ再生確認部をさらに備える。

上記のように、第 9 の発明によれば、コンテンツ管理データ設定部で設定された管理データに応じたコンテンツ再生状態を確認することが可能となる。

【 0 0 1 9 】

【発明の実施の形態】

図 1 は、本発明の一実施形態に係るコンテンツ配信システムの構成を示すブロック図である。図 1 において、本発明の一実施形態に係るコンテンツ配信システムは、サービス提供者であるコンテンツ配信装置 1 と利用者である端末装置 2 とが、ネットワーク 3 で接続されている。コンテンツ配信装置 1 は、コンテンツ記憶部 1 1 と、コンテンツ管理データ設定部 1 2 と、配信コンテンツ記憶部 1 3 と、送信部 1 4 とを備える。また、端末装置 2 は、受信部 2 1 と、配信コンテンツ記憶部 2 2 と、再生制御部 2 3 と、表示部 2 4 とを備える。

図 2 は、本発明の一実施形態に係るコンテンツ配信システムにおけるコンテンツ配信の流れを示す図である。

以下、図 1 及び図 2 を参照して、映像データのコンテンツを配信する場合を例

に挙げて、本発明のコンテンツ配信システム及び方法並びにコンテンツ配信装置 1 を説明する。

【0020】

まず、コンテンツ配信装置 1 を説明する。

コンテンツ記憶部 11 は、ハードディスク等の記憶媒体であり、映像データや音楽データ等のコンテンツと、当該コンテンツに付加される予め定めた特殊効果データとを一对として、それぞれ記憶している。この特殊効果データとは、映像データに関しては、オリジナルコンテンツに、モザイク、モノクロ、ストロボ、ネガポジ反転、ポスタリゼーション又はカラーコレクト等の映像処理効果を付加させるためのデータである。特殊効果データは、特殊効果の種類及びそれが付加されるコンテンツ上の時間に関するデータで構成される。なお、どの特殊効果を使用するかは、対象となるコンテンツの内容に基づいて自由に決定される。また、コンテンツ上のどの時間部分に特殊効果を付加するかも、自由に設定することができる。

【0021】

コンテンツ管理データ設定部 12 は、オペレータ等の操作に従って、指示されたコンテンツをコンテンツ記憶部 11 から取得し、再生条件、課金条件及び特殊効果フラグで構成されるコンテンツ管理データを設定する。ここで、再生条件とは、料金の支払いによって特殊効果が解除されたコンテンツの再生が可能であるという「条件付き再生」や、料金を支払うことなく特殊効果が解除されたコンテンツの再生が可能であるという「無条件再生」等である。課金条件とは、コンテンツが条件付き再生である場合に、特殊効果を解除させるために必要な料金である。特殊効果フラグとは、特殊効果の有無を示すフラグであって、例えばフラグが「1」の場合に特殊効果が付加されたコンテンツ再生が行われることを示す。

このようなコンテンツ管理データの設定は、例えば図 3 に示す編集画面上で行われる。図 3 では、オリジナルコンテンツの再生に料金の支払いが必要なコンテンツ管理データを作成する場合を一例に説明している。入力欄 31 には、選択（取得）されたコンテンツの名称が表示される。そして、オペレータは、入力欄 32 に「条件つき再生」を、入力欄 33 には特殊効果フラグ「1」を、入力欄 34

には料金「200円」を入力して、選択されたコンテンツのコンテンツ管理データを設定する。

【0022】

配信コンテンツ記憶部13には、オリジナルコンテンツ及びその特殊効果データが、コンテンツ管理データ設定部12で設定されたコンテンツ管理データと共に記憶される。なお、設定されたコンテンツ管理データのみを、オリジナルコンテンツ及びその特殊効果データとは別に配信コンテンツ記憶部13に記憶しておいてもよい。このようにすれば、他のコンテンツについてコンテンツ管理データを設定する場合に、コンテンツ管理データ設定部12においてオペレータが新たにデータを入力することなく、配信コンテンツ記憶部13にすでに記憶されているコンテンツ管理データを再利用することが可能となる。

送信部14は、端末装置2からの要求に応じて、配信コンテンツ記憶部13に記憶されているオリジナルコンテンツ、特殊効果データ及びコンテンツ管理データを、ネットワーク3を介して端末装置2へ送信する(図2)。

【0023】

次に、端末装置2を説明する。

受信部21は、再生要求したコンテンツに関するオリジナルコンテンツ、特殊効果データ及びコンテンツ管理データを、ネットワーク3を介して、コンテンツ配信装置1の送信部14から受信する。

配信コンテンツ記憶部22には、受信部21で受信されたオリジナルコンテンツ、特殊効果データ及びコンテンツ管理データが記憶される。

再生制御部23は、配信コンテンツ記憶部22に記憶されたコンテンツ管理データの特殊効果フラグに基づいて、対応したコンテンツを再生する。このとき、再生制御部23は、特殊効果フラグが「1」の場合には特殊効果を付加したコンテンツを再生し、特殊効果フラグが「0」の場合には特殊効果を付加しないオリジナルコンテンツを再生する(図2)。ここで、再生制御部23は、特殊効果を付加したコンテンツを再生している場合、利用者から課金条件に示された料金の支払いが実行されると、特殊効果フラグを「0」に設定して特殊効果の付加を解除させたオリジナルコンテンツを再生する。

表示部 24 は、再生制御部 23 において再生されたコンテンツを表示させる。

【0024】

ここで、図 4 に示すように、上述したコンテンツ配信装置 1 の構成に、クロック信号発生部 15、配信コンテンツ再生部 16、再生方法選択部 17 及び表示部 18 をさらに加えると、以下のようにコンテンツ管理データの設定内容の確認処理を行うことが可能となる。

まず、再生方法選択部 17 で、料金支払い済みとした再生方法又は料金未払いとした再生方法のいずれかを選択する。配信コンテンツ再生部 16 は、クロック信号発生部 15 から出力される時間情報であるクロック信号に同期して、配信コンテンツ記憶部 13 に記憶されている配信コンテンツを、料金支払い済みとした再生方法を選択した場合は特殊効果を解除して再生し、料金未払いとした再生方法を選択した場合は特殊効果を付加して再生する。この再生されたコンテンツは、表示部 18 に表示される。

【0025】

以上のように、本発明の一実施形態に係るコンテンツ配信システム及び方法によれば、オリジナルコンテンツと、そのコンテンツに関する特殊効果データとを個別に持たせておき、コンテンツ管理データにコンテンツ再生時に特殊効果を付加させるか否かの特殊効果フラグを与えて端末装置 2 へ配信させる。これにより、コンテンツ配信装置 1 では、記憶資源の有効活用が図れる。また、端末装置 2 では、1 回のコンテンツ受信だけで、特殊効果の有るコンテンツ又は特殊効果が無いコンテンツのいずれをも再生可能となるので、通信資源を有効活用させることができる。

また、コンテンツ配信装置 1 に、クロック信号発生部 15、配信コンテンツ再生部 16、再生方法選択部 17 及び表示部 18 を設けることにより、コンテンツ管理データ設定部 12 で設定されたコンテンツ管理データに応じたコンテンツ再生状態を確認することができる。

さらに、コンテンツ管理データ設定部 12 で設定されたコンテンツ管理データのみを配信コンテンツ記憶部 13 に記憶させることで、当該データを他のコンテンツにも簡単に再利用させることができる。

【0026】

なお、上記実施形態では、コンテンツ管理データが、再生条件、課金条件及び特殊効果フラグである場合を説明したが、この他にもコンテンツ配信後に他のハードディスクにコピー可能かどうかを示す「コピー条件」等を付加してもよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の一実施形態に係るコンテンツ配信システムの構成を示すブロック図である。

【図2】

本発明の一実施形態に係るコンテンツ配信システムにおけるコンテンツ配信の流れを示す図である。

【図3】

図1のコンテンツ管理データ設定部12の編集画面の一例を示す図である。

【図4】

本発明の一実施形態に係るコンテンツ配信システムに用いられるコンテンツ配信装置1の他の構成を示すブロック図である。

【図5】

有償方式による従来のコンテンツ配信システムの構成及びコンテンツ配信の流れを示す図である。

【符号の説明】

1…コンテンツ配信装置

2…端末装置

3…ネットワーク

11…コンテンツ記憶部

12…コンテンツ管理データ設定部

13, 22…配信コンテンツ記憶部

14…送信部

15…クロック信号発生部

16…配信コンテンツ再生部

17…再生方法選択部

18, 24…表示部

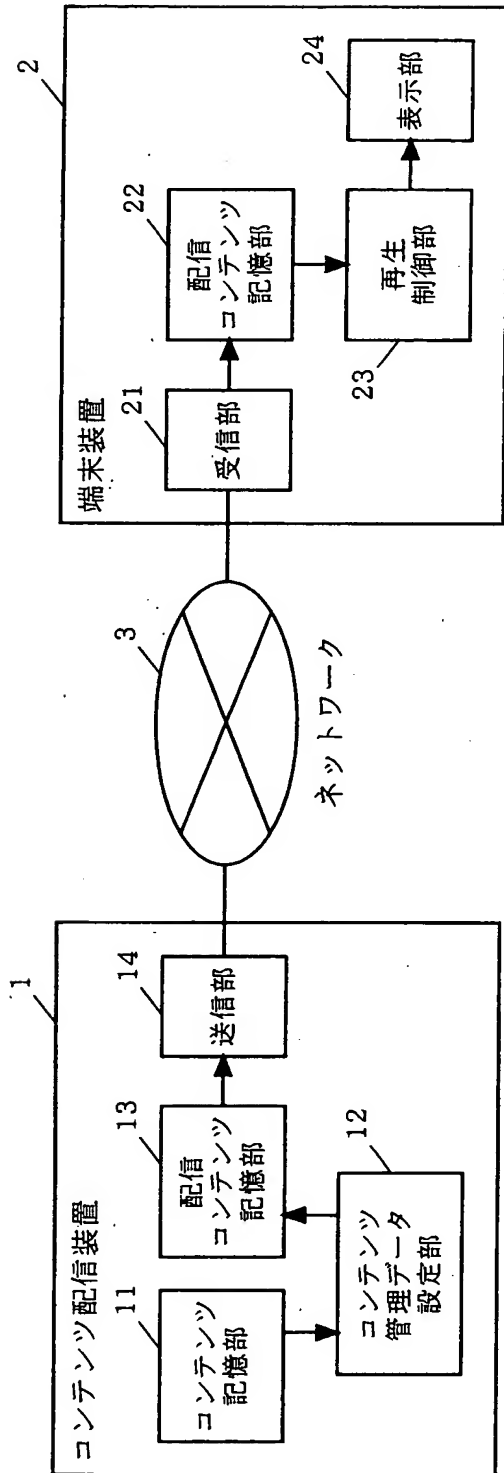
21…受信部

23…再生制御部

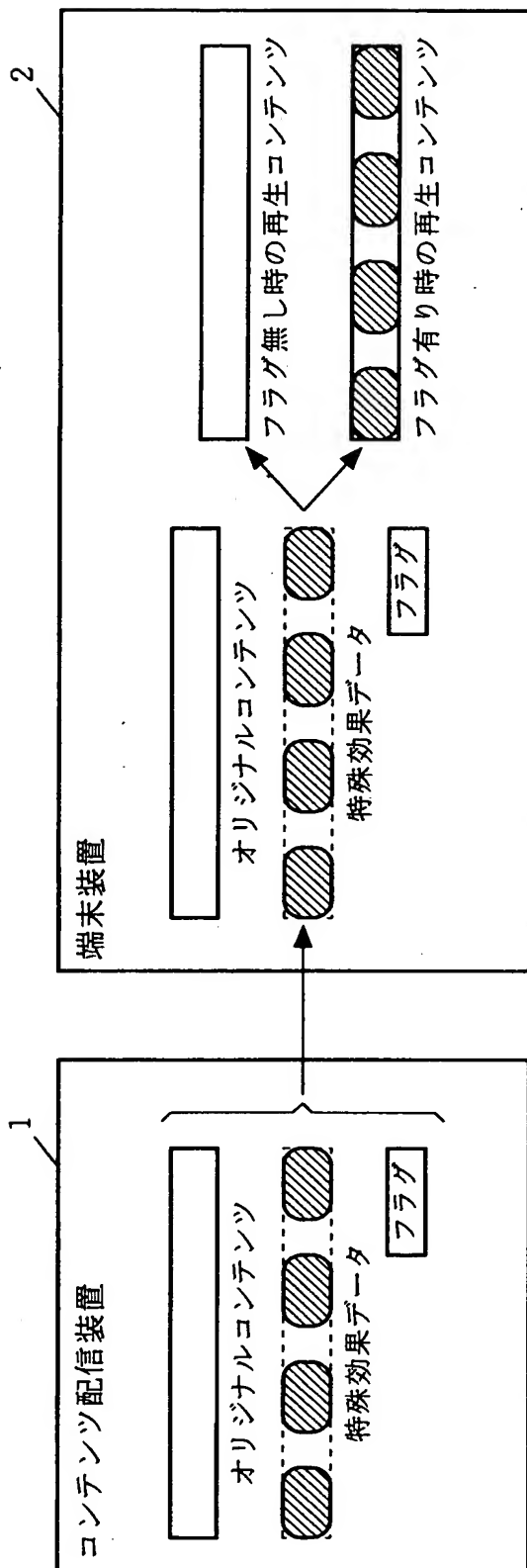
31～34…入力欄

【書類名】 図面

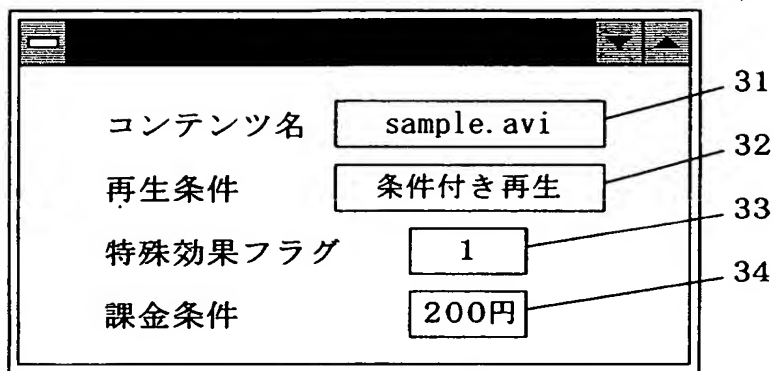
【図 1】



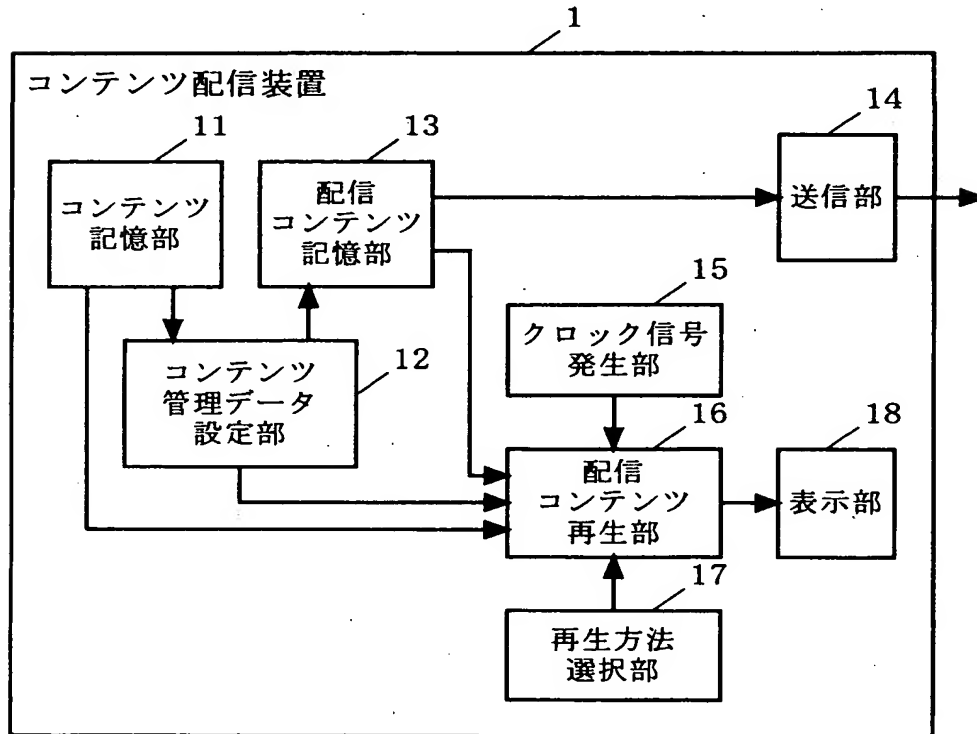
【図 2】



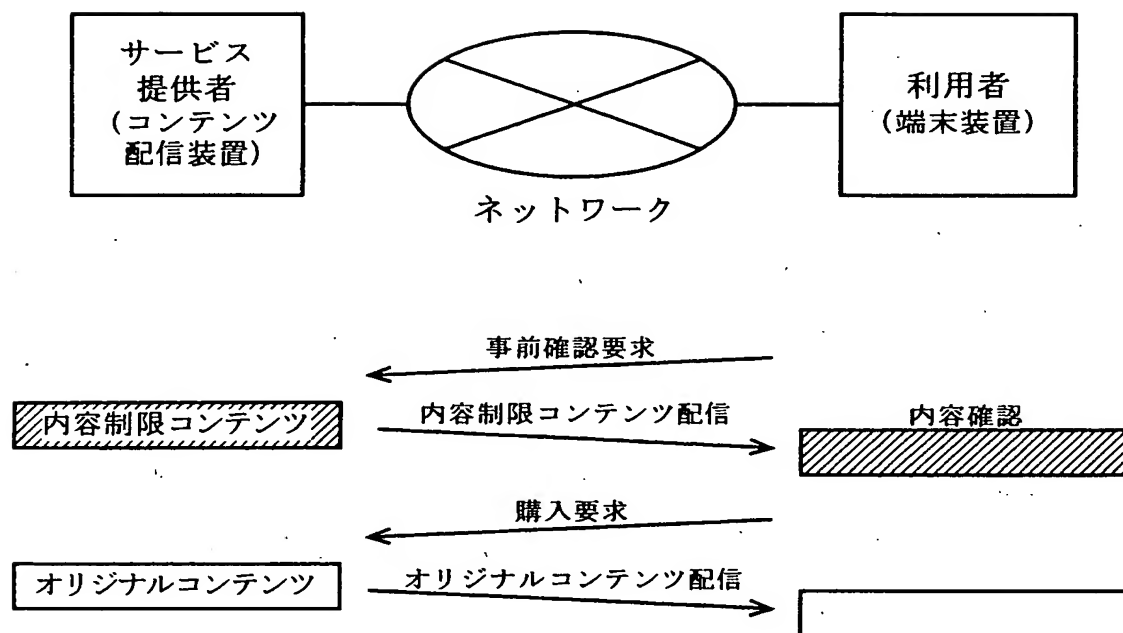
【図 3】



【図 4】



【図5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 コンテンツ配信装置における記憶資源及び端末装置における通信資源の有効活用を図ったコンテンツ配信システム及び方法を提供する。

【解決手段】 コンテンツ記憶部 1 1 は、映像データ等のコンテンツと、それに付加される特殊効果データとを、一対で記憶する。コンテンツ管理データ設定部 1 2 は、オペレータ操作に従って、各コンテンツの再生条件、課金条件及び特殊効果フラグ（コンテンツ管理データ）を設定する。配信コンテンツ記憶部 1 3 には、コンテンツ及び特殊効果データが、コンテンツ管理データと共に記憶され、これらのデータは、送信部 1 4 を介して端末装置 2 へ送信される。配信コンテンツ記憶部 2 2 には、ネットワーク 3 を介して受信されたコンテンツ、特殊効果データ及びコンテンツ管理データが記憶される。再生制御部 2 3 は、記憶されたコンテンツ管理データの特殊効果フラグの有無に基づいて、対応したコンテンツを再生する。

【選択図】 図 1

特2001-013177

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2001-013177
受付番号	50100080434
書類名	特許願
担当官	第八担当上席 0097
作成日	平成13年 1月23日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成13年 1月22日
-------	-------------

次頁無

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005821]

1. 変更年月日	1990年 8月28日
[変更理由]	新規登録
住 所	大阪府門真市大字門真1006番地
氏 名	松下電器産業株式会社